

東農大農 〇石丸 罔雄  
香蘭女短大 青山よしの

1. 前報において我が国で需給される純食糧の中から加工・調理される場合厨芥として放棄されるものと、人体に摂取された後屎尿として放出されるものとに分けて、食物廃棄物の量的関係について報告した。この中で屎尿は屎尿処理場（水洗便所の場合は下水処理場）で処理されるが、厨芥も将来デスポーザー等により粉碎されて流動状態で運ばれ、下水と共に混合処理される様になると考えられるので、食物廃棄物が下水道へ流入して下水処理場で処理する場合の汚濁負荷量の増加の基礎的数値を求め目的のための研究である。

2. 本報においては野菜・果物等の植物性生鮮食品数十種類につき、廃棄率・磨砕率・磨砕汁液のBOD（生物化学的酸素要求量）、COD（化学的酸素要求量）、蒸発残留物量等を測定した結果について報告する。

3. その結果BOD、CODの値が $10^4$  ppmという高い値を示す結果が得られた。